

対象年度	令和 4年度	総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	都市計画道路整備事業						予算事業名	一	
予 算 科 目	会計	XX	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市計画法
			XX	XX	XX	XXXX	経常経費		
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう 快適で住みやすいまちづくり 道路ネットワークの形成						事業の区分	主要事業 重点事業	
							担当課係等	都市計画課 計画係	
事業期間	継続 (令和 3年度～ 年度)								
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】 都市計画道路3・4・18号鹿窪・砂窪線を整備し道路ネットワークを構築する。							【事業開始のきっかけや他市の状況など】 昭和32年に都市計画決定され、直近では平成29年に名称（旧鹿窪・根本原線）、終点及び延長の変更を行った。		
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】 令和3年度に事業化に向けた都市計画道路の都市計画変更の手続きを完了させ、事業認可を取得する予定である。 都市計画道路3・4・18号線（鹿窪・砂窪線）の未整備区間の整備にあたっては、市でも一部区間を施工するため、県と連携を図り事業を進める。							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】 沿線住民（地権者）及び道路利用者 【事業をとりまく環境の変化】 長期未着手となっていた都市計画道路の整備であり、また多くの移転物件があることから長期化も懸念される。沿線住民（地権者）との合意形成を図り、事業を進める必要がある。		
【令和 4年度 事業内容】 路線測量、用地測量等 道路詳細設計			【令和 5年度 事業内容】 用地買収（交渉）				【令和 6年度 事業内容】 用地買収（交渉）		
■事業費									
財 源 内 訳	R02年度			R03年度					
	国	庫	支	出	金	0	0		
	県	支	出	金	0	0			
	地	方	債		0	0			
	そ	の	他		0	0			
	一	般	財	源	0	0			
歳 入 計 (千 円)				0	0				
歳 出 内 訳	節	(番 号 + 名 称)	金額	(千 円)	金額	(千 円)			
歳 出 計 (千 円) (A)				0	0				
伸 び 率 (%)									
備 考	総合計画 69 ページ								

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位	R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	都市計画道路3・4・18号鹿窪・砂窪線の整備に向けた取組	式	目標 実績	1.00 1.00	1.00 0.00
			目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00
			目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00
			目標 実績	1.00 1.00	1.00 0.00
成果指標	都市計画道路3・4・18号鹿窪・砂窪線の整備	式	目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00
			目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00
			目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00
			目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	都市の骨格を形成する都市計画道路の整備は重要である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	将来県道となることが予定されている路線であり、県が事業主体ではあるが、市も費用を一定程度負担することになる。
	手段の妥当性	A 妥当である	都市計画道路であり行政が整備することは妥当である。
効率性	コストの効率性 ・人員効率	B どちらとも言えない	まだ事業化されていないため効率性を判断できないが、効率的に事業を進めるには県と緊密な連携が求められる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	公共性に高い事業であり、将来における道路ネットワーク構築の観点からも偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	まだ事業化されていないことから評価できない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	まだ事業化されていないことから評価できないが、事業化に向けて都市計画変更の手続きを進めている。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

多額の事業費が見込まれる事業であり、財源確保が不安視されること、また多数の移転対象家屋があるため用地取得の長期化が懸念される。この道路の整備について沿線住民（地権者）の理解と協力が得られなければ円滑に事業を遂行することはできない。

対応策提言等	この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか
	令和4年度から用地測量や詳細設計に入る予定であり、当課の現人員体制では事業を円滑に進めることは出来ない。早期完成を目指すためにも当該事業の所管課の検討を含め、用地交渉にあたる職員及び体制の強化は不可欠である。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
方向性の具体的な内容
長期化も懸念される街路事業であり、住民（街路沿線地権者）との合意形成を図り、事業を推進していく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ■改善改革ながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）
上記評価のとおり。